

つかさ会 会報

Vol. 45
2010.1月発行
つかさ会事務局

つかさ会会員の皆様、こんにちは。
あけましておめでとうございます。



突然ですが、『一病息災』という言葉をご存知でしょうか。『一病(ちょっとした病)のある人は、体に注意するので、健康な人より長生きである』ことだそうです。糖尿病を一病と考えると、健康に気を配り、プラス思考で行きましょう！

今年も良い一年になりますように。

今月号の『さかえ』では、“動門来福(P26)”で掲載されているような契約書または誓約書は如何でしょうか。ここまで堅苦しい事は無理！とも思いますが、新年明けた事ですし、今年の健康への目標などを立ててみるのも良いと思います。

“糖尿病顛末記(P28)”では、低血糖が怖くて処方されていた薬を自分で減らして…決められた通りに服薬しましょうね。もちろん治療は主治医と患者さんが相談して決めるものです、納得がいかなければ主治医や看護師さんにどしどし質問ください。

特集の“糖尿病治療のこれから(P18)”では、新しいタイプの内服とインスリンが登場です。内容は難しいので…興味がある方だけどうぞ。医学は進歩し続けています。いずれ糖尿病が完治するといいですね。

我々のつかさ会は日本糖尿病協会に所属しています。その協会の理事長の写真とコメントが特別インタビュー(P9)されていますのでチラッと見ておいてください。つかさ会の会員も500名を超え大所帯となりました。この『さかえ』を読むだけでもページをめくるだけでも…きっと役に立つと思います。時々つかさ会の会員の方も“読者のひろば(P58)”に投稿されています。匿名でも良いそうなので投稿してみても如何でしょうか。またつかさ会では今年も講演会などイベントを企画し、参加される方の“楽しむチカラ(P53)”になれる事をめざして頑張ります。